

平和公園地区 景観形成重点地区

1 地区の概要

平和公園地区は、都市への原爆投下という、人類史上まれにみる出来事を象徴する歴史的な場であり、核廃絶・平和を希求し、平和都市として世界へ発信する顔となる場所です。祈りの空間の原爆落下中心地、平和祈念式典会場となる願いの空間の祈念像地区、平和学習に訪れる原爆資料館などがあり、平和都市ナガサキを象徴する場所として、多くの人々が訪れています。

2 景観の形成に関する方針

＜景観の形成に関する方針＞

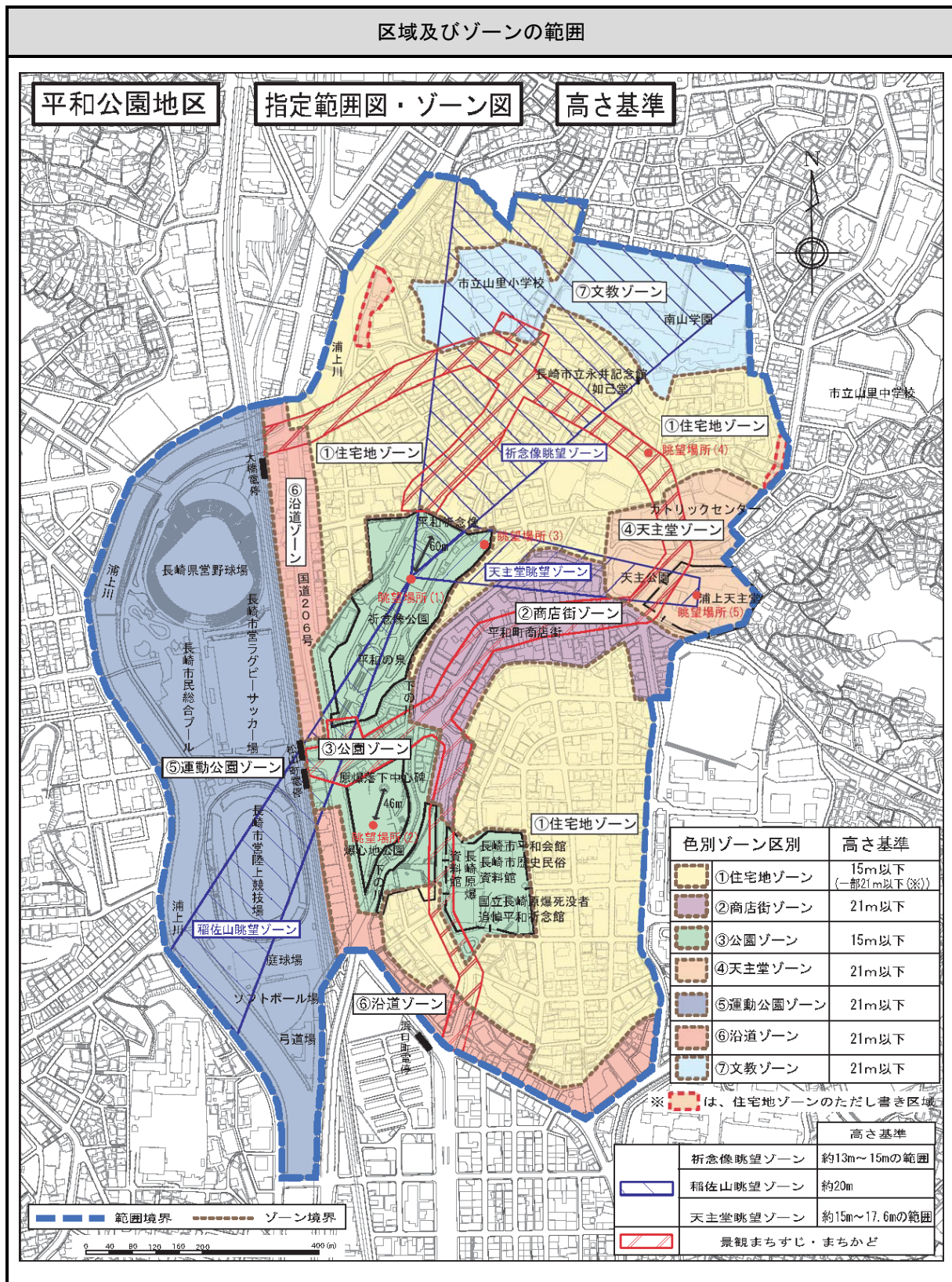
- 被爆遺構、平和を祈念する施設を中心に被爆の実態を後世に伝え、恒久平和を訴えていく舞台として、世界に誇れるまちづくりを図る。
- 地域内を一体的に回遊できるように、わかりやすいまちかど、優しいまちすじを創出し、潤いと親しみのあるまちづくりを図る。
- 住宅地の中にも観光地的要素が混在するため、住民にとっては暮らしやすく、来訪者にとっても快適な印象を与えるまちづくりを図る。

3 ゾーン毎の景観形成に関する方針

ゾーン	景観の形成に関する方針
①住宅地ゾーン	平和公園周辺の住宅地として住民にとって暮らしやすく、来訪者にとって快適な空間を創出する。
②商店街ゾーン	地区のランドマークである浦上天主堂を意識した活気とにぎわいのある風格をもった空間を創出する。
③公園ゾーン	平和都市長崎の象徴として厳粛さを持つ公園の聖域性を高める空間を創出する。
④天主堂ゾーン	浦上天主堂の保全を図るとともに、これを意識した空間の創出を図る。
⑤運動公園ゾーン	市民スポーツ、レクリエーションの場として、また緑豊かな憩いの場となる空間を創出する。
⑥沿道ゾーン	平和公園の周辺として、おちつきのある空間を創出する。
⑦文教ゾーン	平和公園の周辺としての教育環境の保全を図る。
祈念像眺望ゾーン	平和祈念像背後の空間を保全する眺望を確保する。
稲佐山眺望ゾーン	稲佐山への眺望を保全する。
天主堂眺望ゾーン	浦上天主堂と祈念像公園の間の眺望を確保する。
景観まちすじ・まちかど	来訪者や市民など多くの人たちが安心して、わかりやすく回遊できるルートづくりを促進する。

◇区域図

区域及びゾーンの範囲



4 景観形成基準

(1) 基本的な考え方

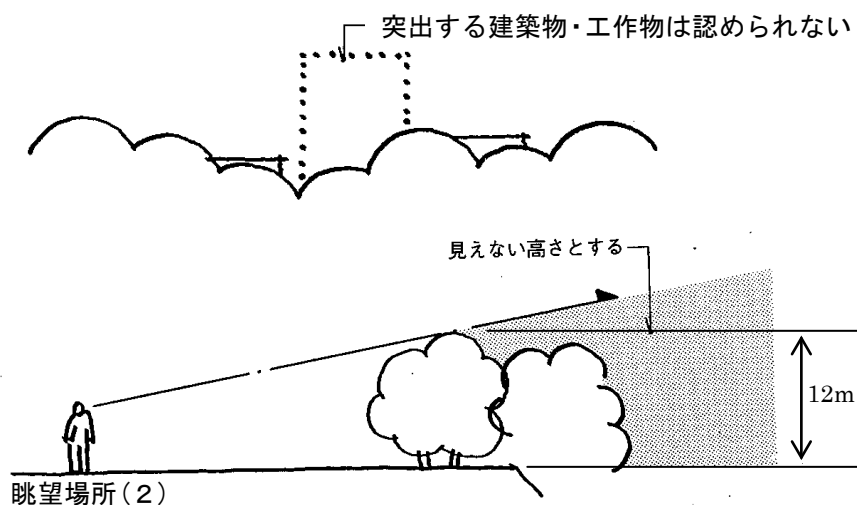
ゾーン	基本的な考え方
共通（全体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祈念像公園、爆心地公園内の聖域としての景観を確保するために、公園周囲の建築物や工作物は公園内から見えないように配慮する。 ・ レンガ壁や緑を意識した色彩計画を行い、原色・高彩度色の使用は避ける。また、経年変化がわかる自然な仕上げ材料や素材の使用を促進する。 ・ 建築物の屋根の形状は、眺望として映るまちなみにリズムをもたせた形状とする。 ・ 事業所や集合住宅等規模が大きな駐車場や資材置き場は、建物の形状や周囲のまちなみと調和させる。 ・ まちなみに潤いと連続性をつくり、平和のイメージに彩りを添える敷地の緑化を行う。 ・ 自動販売機は、聖域である祈念像公園、爆心地公園の隣接地としてのイメージを阻害しないように配慮する。
①住宅地ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺環境に調和したまちなみの形成を図るために、大規模な建築物や工作物の建設を避ける。 ・ 敷地内の緑化を促進する。
②商店街ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浦上天主堂への眺望を確保する。 ・ 公園ゾーンと天主堂ゾーンを連携する統一感のあるまちなみの形成を図る。 ・ 看板等の整序を図る。 ・ 夜間の賑わいと明るさを演出する。
③公園ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聖域としての公園の保全を図る。 ・ 自動販売機は、聖域としてのイメージを阻害しないように配慮する。 ・ 公園周囲のゆとりある歩行者空間を確保するために、できる限り壁面後退を促進する。
④天主堂ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浦上天主堂と調和したまちなみを創出する。 ・ 大規模な敷地の保全を図る。 ・ 豊かな緑を確保するために、樹木の保全を図る。
⑤運動公園ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆとりと潤いのある憩いの広場として緑化を図る。 ・ 浦上川の水辺空間を活かした公園として保全を図る。
⑥沿道ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺環境に調和したまちなみの形成を図る。 ・ 看板類の整序を図る。 ・ ゆとりある歩行者空間を確保するために、できる限り壁面後退を促進する。
⑦文教ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺環境に調和したまちなみの形成を図る。 ・ 大規模な敷地の保全を図る。
祈念像眺望ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和祈念像の象徴的風景を確保するために、背後の建築物や工作物の位置・高さに配慮する。
稲佐山眺望ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲佐山の印象的眺望を確保するために、建築物や工作物の位置・高さに配慮する。
天主堂眺望ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浦上天主堂の前からの祈念像公園の眺望を確保するため、建築物や工作物の位置・高さに配慮する。
景観まちすじ・まちかど	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすく楽しく安全に歩ける歩行空間の確保を図るとともに、潤いと親しみ、賑わいの形成を図る。 ・ 爆心地公園と祈念像公園の一体化を図る松山町交差点の整備を行う。 ・ ゆとりある歩行者空間を確保するために、できる限り壁面後退を促進する

(2) 景観形成基準（地区共通）

行為の種別・事項		景観形成基準																																			
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転 ・外観を変更することとなる修繕又は模様替若しくは色彩の変更	高さ	・爆心地公園の眺望場所(2)（原爆落下中心碑の正面より46mの位置）から見て、周囲の緑地（H=12m）に隠れる高さとする。（■ 高さ基準1）																																			
	形態・意匠	・材料は、自然な質のものなどを使用し、周囲の景観と調和したものとする。 ・建築物の屋根は、原則として2方向以上の傾斜屋根とする。屋根の勾配は、10分の3以上とする。やむを得ず陸屋根とする場合は、屋上のパラペットの形状等により、傾斜屋根に類似する工夫が施され、又は、屋上緑化等により良好な景観形成に配慮されたものとする。 ・道路から望見される塀は、素地のままのブロック塀とせず、自然素材を感じるものとするか、あるいは、生垣などにより緑化する。 ・道路に面し、駐車場等の開放された空地を設ける場合は、周囲の景観に調和した門、塀又は生垣等を設置する。 ・高架水槽、空調屋外機などの建築物の付帯設備は、道路等から望みされる場所（屋上含む）に設置しない。やむを得ず設置する場合は遮へいし、周辺の景観に調和するものとする。 ・自動販売機は、建築物等の中に組み込むか、又は、周辺景観と調和する意匠、形態、色彩とする。																																			
	色彩	・基調となる色彩はマンセル表色系において、以下のとおりとする。 （1）建築物の屋根 <table><tr><th>色相</th><th>明度</th><th>彩度</th></tr><tr><td>YR～G系</td><td>2.5以上～7.0以下</td><td>1.5以下</td></tr><tr><td>BG系</td><td>5.5以上～7.0以下</td><td>1.5以下</td></tr><tr><td>N系</td><td>2.5以上～7.0以下</td><td></td></tr></table> （2）建築物の壁面、工作物 <table><tr><th>色相</th><th>明度</th><th>彩度</th></tr><tr><td>R系、GY系、B系</td><td>6.0以上～9.0以下</td><td>1.0以下</td></tr><tr><td rowspan="3">YR系</td><td>5.0以上～5.5未満</td><td>4.0以上～6.0以下</td></tr><tr><td>6.0以上～7.5以下</td><td>3.0以下</td></tr><tr><td>7.5超～9.0以下</td><td>2.0以下</td></tr><tr><td>Y系、PB系</td><td>6.0以上～9.0以下</td><td>2.0以下</td></tr><tr><td>G系、BG系、P系、RP系</td><td>6.0以上～9.0以下</td><td>0.5以下</td></tr><tr><td>N系</td><td>6.0以上～9.0以下</td><td></td></tr></table> ※ただし、次に該当するものについては、この限りではない。 ・石材、れんが等の素材の色及びアクセントカラー（外壁の各方面の見付け面積の各10%以内とする） ・周辺景観への影響がないと市長が認めるもの		色相	明度	彩度	YR～G系	2.5以上～7.0以下	1.5以下	BG系	5.5以上～7.0以下	1.5以下	N系	2.5以上～7.0以下		色相	明度	彩度	R系、GY系、B系	6.0以上～9.0以下	1.0以下	YR系	5.0以上～5.5未満	4.0以上～6.0以下	6.0以上～7.5以下	3.0以下	7.5超～9.0以下	2.0以下	Y系、PB系	6.0以上～9.0以下	2.0以下	G系、BG系、P系、RP系	6.0以上～9.0以下	0.5以下	N系	6.0以上～9.0以下	
	色相	明度	彩度																																		
YR～G系	2.5以上～7.0以下	1.5以下																																			
BG系	5.5以上～7.0以下	1.5以下																																			
N系	2.5以上～7.0以下																																				
色相	明度	彩度																																			
R系、GY系、B系	6.0以上～9.0以下	1.0以下																																			
YR系	5.0以上～5.5未満	4.0以上～6.0以下																																			
	6.0以上～7.5以下	3.0以下																																			
	7.5超～9.0以下	2.0以下																																			
Y系、PB系	6.0以上～9.0以下	2.0以下																																			
G系、BG系、P系、RP系	6.0以上～9.0以下	0.5以下																																			
N系	6.0以上～9.0以下																																				
敷地の緑化	・敷地内は、できるだけ緑化する。																																				
都市計画法第4条第12項に規定する開発行為	・法面は出来る限り緩やかな勾配とし、緑化等により周辺の自然環境及びまちなみとの調和に配慮する。																																				
土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更行為	・市街地景観の背景となる斜面緑地については、周辺の植生に配慮して緑化に努める。 ・擁壁は素材、表面処理の工夫、前面緑化等により、周辺の自然環境及びまちなみとの調和に配慮する。 ・敷地内にある良好な樹木、水辺等の自然資源をできる限り保全し、生態系に配慮して活用するように努める。																																				
屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積	・堆積物は道路など公共の場から見えなように配置を工夫するとともに、できる限り高さを抑える。 ・そのままでは道路など公共の場から見える場合は、植栽や圧迫感のない塀の設置等による修景を行う。 ・整然と集積・貯蔵し、敷地外に流出しないよう安全性にも配慮する。																																				

★建物等の建替えについて、景観計画施行時において、現に存する建築物等又は工事中の建築物等などが景観形成基準を超えている場合、建築物の用途や敷地の状況等を考慮したうえで、既存の建築物の高さの範囲内で、市長がやむを得ないものと認めるものはこの限りではない。

■高さ基準1：爆心地公園周辺の高さについて



(3) ゾーン毎の景観形成基準

表1 住宅地ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	位置 ・高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・高さは15m以下とする。ただし、周辺より極端に低い崖下などの区域については、21m以下にすることができる。 ・接する道路空間に配慮して、緑化が図れるような外壁位置とする。

表2 商店街ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・高さは21m以下とする。 ・祈念像公園の眺望場所(1)から見て、緑地(H=2m)に隠れる高さとする。

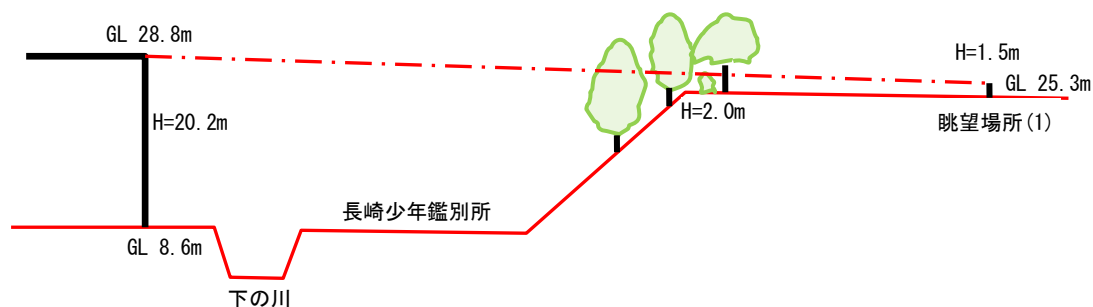


表3 公園ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・高さは15m以下とする。 ・爆心地公園の眺望場所(2)から見て、緑地（H=12m）に隠れる高さとする。

表4 天主堂ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・高さは21m以下とする。

表5 運動公園ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・高さは21m以下とする。 ・祈念像公園の眺望場所(1)から見て、緑地（H=2m）に隠れる高さとする。

表6 沿道ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・高さは21m以下とする。 ・祈念像公園の眺望場所(1)から見て、緑地（H=2m）に隠れる高さとする。

表7 文教ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・高さは21m以下とする。

表8 祈念像眺望ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・祈念像公園の眺望場所(1)から平和祈念像を見て、公園の東角・西角の中に入る建築物又は工作物の高さは、基準高（平和祈念像の位置で地上より8mの高さ）に隠れる高さ以下とする。（高さ約13.0m～15.0mの範囲）

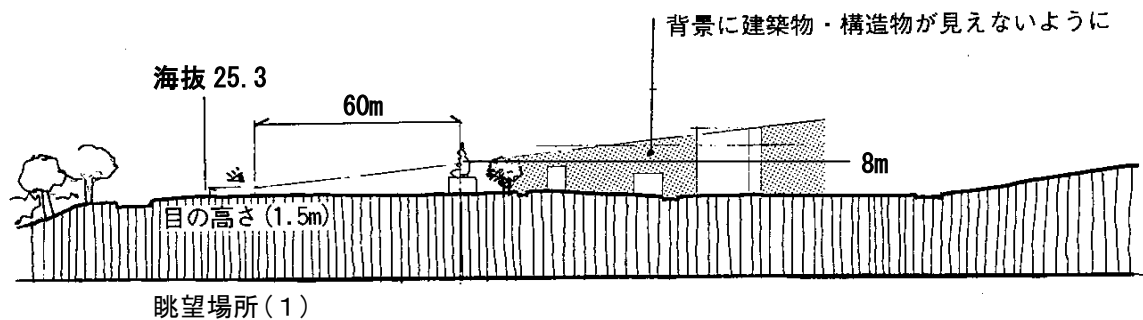


表 9 稲佐山眺望ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	・ 祈念像公園の眺望場所(1)から稲佐山に対する眺望を著しく妨げないように、建築物又は工作物の高さは、標高25.0mを超えないようにする。(高さ約20.0m)

表 10 天主堂眺望ゾーンの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	高さ	・ 祈念像公園と浦上天主堂が互いに認識できるように、建築物又は工作物の高さは、標高26.5mを超えないようにする。(建物高さ15.0m～17.6mの範囲)

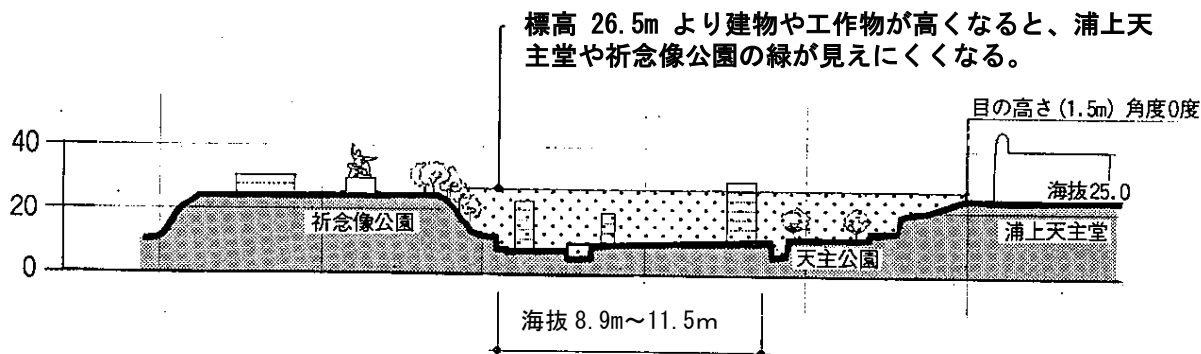
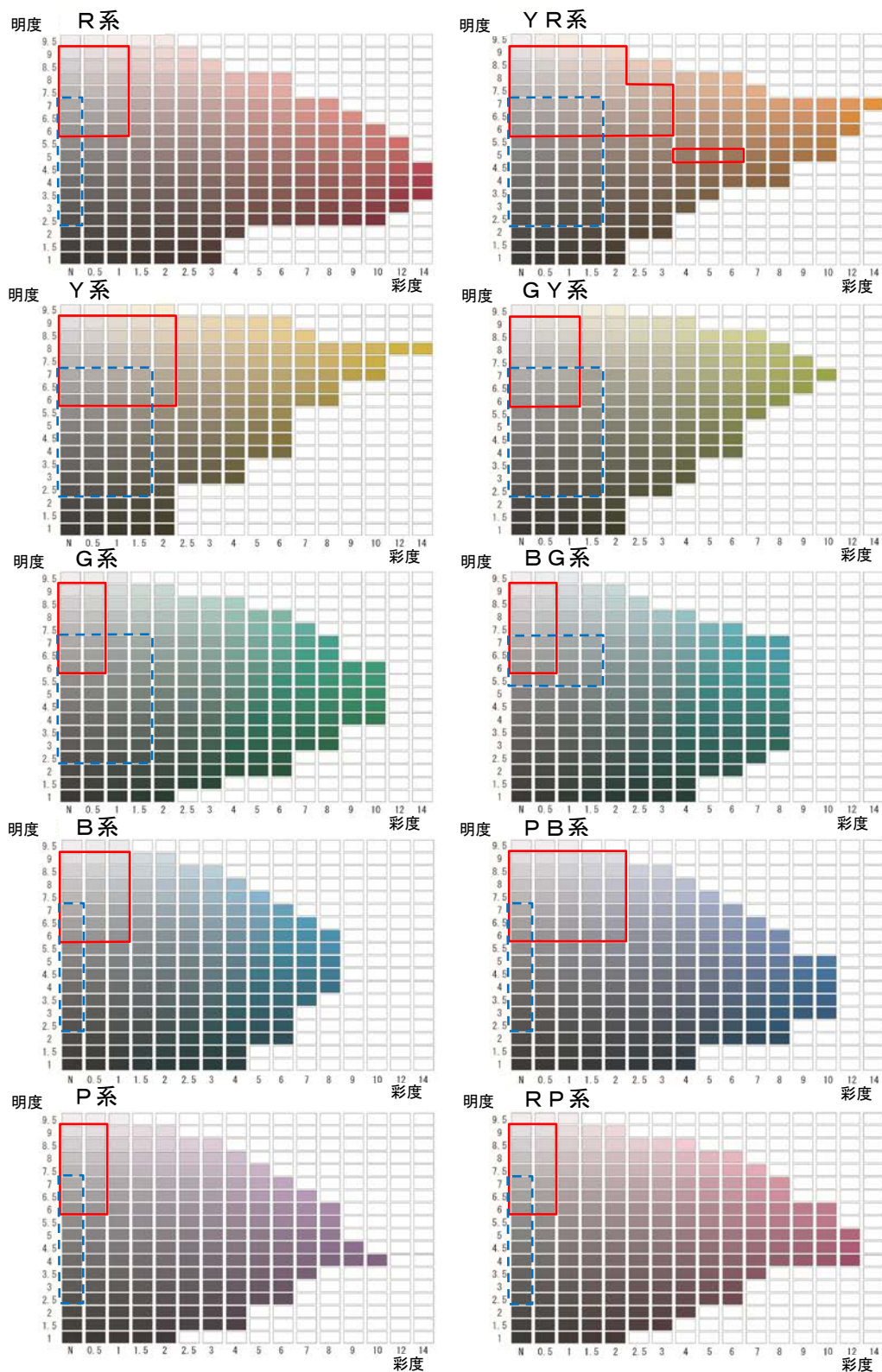


表11 景観まちすじ・まちかどの景観形成基準

行為の種別・事項		景観形成基準
・建築物又は工作物の新築、新設、増築、改築又は移転	位置	・ 接する道路空間に配慮して、外壁の位置は、できる限り後退し、歩行者がゆとりを持てるとともにまちの賑わいを楽しめる空間を創出する。

5 平和公園地区の色彩基準

下図の線の枠内は、使用できる色を参考として示しています。なお、ここに表現している色は印刷によるものであり、正確なマンセル値とは異なるため、実際の色は色票で確認してください。



外壁 屋根

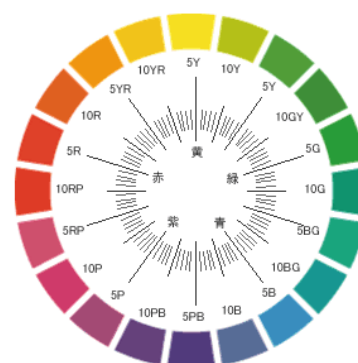
■ マンセル表色系のしくみ

発注者や設計者、施工者などが同じ色彩を共有できるように、日本工業規格（JIS）にも採用されているマンセル表色系を基礎としたカラーシステムによって表わしています。マンセル表色系では、「色相（Hue）」、「明度（Value）」、「彩度（Chroma）」の3つの属性の組み合わせによってひとつの色彩を表わします。

【色相】 色味の違いを色相として表わします。色相は、R（赤）、YR（黄赤）、Y（黄）、GY（黄緑）、G（緑）、BG（青緑）、B（青）、PB（青紫）、P（紫）、RP（赤紫）の10色相の頭文字と、その変化を表わす0から10までの数字を組み合わせで用います。

【明度】 色彩の明るさの度合いを明度として表わします。0から10までの数字を用い、明るい色彩ほど数字が大きくなります。無彩色はN5.5などのように最初にニュートラルの意味を表わすNをつけて明るさの度合いだけで色彩を表わします。

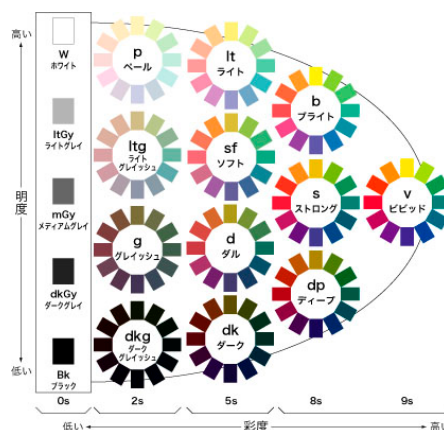
【彩度】 色彩の鮮やかさの度合いを彩度として表わします。鮮やかな色彩ほど数値が大きくなりますが、最大の数値は色相によって異なります。



マンセル色相環

マンセル記号の表わし方と読み方
 5 R 4 / 1 4
 色相 明度 彩度
 （5アール、4の14）と読む

【トーン】 色彩の三属性のうち、明度と彩度を組み合わせたものをトーンと呼びます。トーンは色の調子、色調などと呼ばれ、色の強弱や軽重、濃淡など、色が与える印象と深く関わっています。



PCCS トーン分類